



『スズムシソウの新分類』

これまでスズムシソウ、セイタカスズムシソウとよばれるものには、少なくとも形の異なる3タイプがあることがわかっていました。この3タイプは明確に分けられるのか、遺伝的にどのくらい分化しているのかが不明瞭で、これまで解析サンプルを増やし、遺伝子情報の解析などを行ってきましたが、明らかにできずにいました。新たに次世代シーケンサーでの解析なども取り入れたところ、形態と同様、3タイプに分けられることが明らかになり、それぞれの学名を整理し、図のようにスズムシソウ、セイタカスズムシソウ、アキタスズムシソウの3種とする見解をまとめました。論文は近々出版される予定です。

この研究に取り組みはじめてから見解を正式発表するまでに10年以上かかってしまいましたが、その間、全国各地のたくさんの方から情報やサンプルの提供、さらに解析技術の劇的な向上もあり、研究を続けることができました。

しかし研究はこれで終わりではありません。2008年に同属の新種シテクモキリソウを発表した際、当時は一部地域でしか分布を確認できませんでしたが、発表後しばらくして、北海道から四国まで多くの方から生育情報をいただ

き、2016年には分布情報を追加する論文を発表しました。今回の研究成果の発表により、さらに各種のより詳細な情報を集めていきたいと思っています。



和名	スズムシソウ	セイタカスズムシソウ	アキタスズムシソウ
学名	<i>L. suzumushi</i> (新種)	<i>L. makinoana</i>	<i>L. longiracemosa</i> (新種)
特徴	唇弁長14-17mm、幅11-15mm 花数4-16、花茎10-25cm 花期5-6月 北海道南部、本州、四国に分布	唇弁長9-12mm、幅6-9mm 花数4-30、花茎10-35cm 花期6-7月 北海道、本州に分布	唇弁長8-10mm、幅5-7mm 花数4-40、花茎15-40cm 花期6-7月、北海道、本州、四国、九州に分布

*従来セイタカスズムシソウの学名とされてきた *Liparis japonica* は *Malaxis monophyllus* (ホザキイチヨウラン) の異名とする

研究者に
聞いてみました!

1) これから取り組んでみたい研究は

クモキリソウ属は、分類はややこしいですが、生育環境が多様で面白く、今後はどのように多様化してきたのかを調べたいと思っています。

2) 自身の研究内容と社会、一般との接点は

全国各地で植物を調べているプロ・アマの方々の惜しみない協力があって研究ができています。今回の研究は多くの方から早く

正式に発表してほしいと言われてきたので、ようやく整理ができてホッとしています。いずれは図鑑の改訂などにもつなげたいと思います。

3) やりがいを感じるのとはどのような時ですか

シテクモキリソウの研究では、発表後少しずつ情報が集まることで、研究成果が広がっていくことを実感でき、やってきてよかったと感じました。今回の研究成果も普及に努めていきたいと思っています。

4) 研究する上での苦労や悩みなどはありますか

自身でもっと実験をしたいのですが、なかなか時間がとれないのが悩みます。

